

眼科とアトピー性皮膚炎のタダならぬ関係①

新型コロナウイルスの感染状況はその後改善傾向ですね。しかし、これまでの過去2年間を参考にするに8月には新規感染者数が増加する傾向がありますので、個人的には引き続きの注意は必要という印象です。

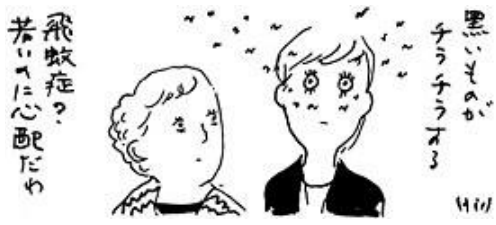
新型コロナワクチンの国内での接種率ですが、3回目接種終了が60.8%(6/15時点)です。接種はかなり進んでいると考えて良いのではと思いますが…ここで皆さん疑問をお持ちではないでしょうか。「それじゃあ4回目ってどうなるの？」って事なんです…。4回目は今までの3回の接種とは異なり「希望者は全員接種(※もちろん年齢などで制限はあります)」という方針ではありません。「60歳以上で3回目の接種から5カ月を経過した方(※それ以外に基礎疾患などを理由に対象となる方もあります)」が対象です。詳しくは八王子市のホームページに記載がありますが、

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/hoken/007/013/p030748.html>
 詳細を問い合わせる場合には八王子市保健所の健康部(新型コロナワクチン接種体制確保担当)『☎ 042(645)5111』となります。

4回目の接種はそういう方針なんです(基本は厚生労働省の方針です)…ココで疑問が生じますよね?「3回目までは希望者全員接種だったのに、なぜ4回目は高齢者(と基礎疾患のある方)だけなの?」という事です。ちなみに、4回目の接種については医療従事者が立场上優先接種という方針もありませんし、遅れて4回目接種という予定もありません、原則一般の方と同様な扱いとなっています。ただしこれには理由があって、先行で4回目の接種を進めているイスラエルの情報によると、3回接種の場合と比較した4回目接種での効果は重症化予防への効果が高く、発症を予防する効果については高くないというデータがあるからなんだそうです。この事が「3回のワクチン接種が終了すると日本全体に一定の感染防御効果があり、今後は新型コロナ感染が収束に向かう」事を意味するのですか? そうではなくて、今後やはりワクチンの効果が失われてしまい4回目以降のワクチン接種を希望者全員に! という方針に変更となるのか? しかし、それは感染状況が悪化した場合、もしくは先行の諸外国で感染状況が悪化した場合ということになると思いますので…やはりコロナ感染がいよいよ収束に向けた一連の変化の一部…という風に期待したいなあと思ったりします…しかし、必ず収束に向かうという証拠も全くないわけなのですが…。それでは前回号に続いてアトピー性皮膚炎の解説の引用を続けます。@@

アトピー網膜剥離の患者さんの多くは白内障を合併していて、まぶしい見え方や軽い見にくさが白内障だけによるものと患者自身も眼科医も判断して診断が遅れることがあります。

大きな網膜の亀裂を合併した場合には、網膜の亀裂が生じた際の出血が硝子体(眼球



の中にある卵の白身のような液体)に混ざって、視線を動かすと視野の中にすすやゴミのような邪魔な物が見える、飛蚊症という症状がでることがあります。

白内障を合併していたり、飛蚊症が悪化したら、散瞳した(瞳を大きくする目薬をさした)眼底検査が必要です。

7-4.アトピー網膜剥離の治療

網膜に亀裂(網膜裂孔)が生じると、その部位の網膜は硝子体に引っ張られるために網膜裂孔は進行します。そのため治療には、網膜にかかっている硝子体の引っ張りをなくすことと、網膜裂孔をふさぐ手術が必要となります。@@

@@今月の引用はここ迄です、続きは次号をお楽しみに。

2022年夏季休診日程

	8/13	8/14~8/21	8/22
AM	○	×	○
PM	×	×	○
	※ ×	……	……
	休診		通常診療

今月のお知らせ

本年度の夏季休診は上記日程です。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解の程お願い致します。



<http://www.fujita-ganka.com>



FUJITA-EYE-CLINIC

藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)

F-Vision

☎ **042**
(645)
0575
 ☎ **042**
(642)
2911